



連休初日、愚息の住む札幌に向かう道中、満開の桜をたくさん見かけました。札幌市内ではチューリップなどの春の花が見頃を迎えていて、行きかう人たちもすっかり春の…と思いきや、風は強いし、大雨は降るしで結構寒かったです。連休後半は釧路で過ごしましたが、こちらにも桜が咲いている！平年と比べ1週間から10日程早かったようですが、これも暖冬の影響ですね。寒いよりは暖かい方が、心穏やかで、気持ちも軽やかではありますが、そう感じるのは寒い冬があるからですね。南極の氷がこれ以上溶けませんように。

## What I think about when I think about English.

毎月ひとつ、何かしら【英語のこと】を書きます

どんなに英文法を勉強しても、語彙を増やす努力をしても、いざ口を開くと、出てくる英文がぐちゃぐちゃになっている人がものすごく多い。感覚としては、3人に一人の割合で中1レベルの英文法すら反映されていない英文を吐き出している。昨日のことを話しているのに、動詞が過去形になっていない、猫が5匹と言いながら、cat が単数形のまま、お母さんの話だと思って聞いていたら、突如主語が he に置き換わる…これらの間違いを指摘されて気づく人は、文法を学習している証拠ですので、次の段階に進んでいきましょう。そもそもどうして文法が散々な英文になってしまうのか。原因の一つは、相手の発言を聴いて理解することで体力を消耗してしまって、自分の発言する内容まで「気が回らない」ということが挙げられます。これとは逆に、何か言おうとするも、冠詞、代名詞、副詞、何をどう使うべきか考えるうちに

処理が追い付かなくなり、何も言えなくなる無言症候群を発症する人もいます。これらの症状には覚えた構文・語彙を使い、日本語の文章を見て、それを瞬時に英文に直すトレーニングが効果的です。文法に自信が無い人は、口頭での練習と合わせて文字にして書き出してもいいでしょう。日本語と英語の言語入れ替えが速ければ速いほど良い、というわけではありませんが、会話が間延びするほど時間をかけて文章を組み立ててから、やっと口を開くのではあまりに不自然です。出来もしないのに完璧であろうとすることはやめて、その代わりに、間違いから学ぶことを繰り返す実践形式に切り替えていきましょう。つくづく英語は難しい、だから面白いと気づけたなら大成功です。



### Becoming Me: My English Journey

— Behind the Teacher's Smile —

当時の私は英会話レッスンのことをよくわかっていませんでした。その頃の反省を踏まえて、今の sanaeigo があります。

【北海道出身です。Do you know where Hokkaido is?】

正直言うと、あまりにも時間が経ってしまったせいで、先生の奥様（以下 Mrs. M）との英会話レッスンの内容は既におぼろげです。ただ英語で喋るという練習をした記憶が残るのみです。いよいよアメリカに降り立ったその日（現地は土曜日）空港で私を pick up してくれるはずの大学スタッフの姿が見当たらず。そうだ、大学に電話してみよう、いや待って、公衆電話？小銭？そんなもの無い。そんな私を見かねて声をかけてきた警察官に「私は日本の北にある北海道から来ました。〇〇Collegeの誰かが今日私を迎えに来てくれることになっているのですが…」といった内容のことを、伝えようと奮闘しながら Mrs. M とのレッスンを思い出していました。確か I'm from Hokkaido, Japan. というフレーズ、練習したっけな。（つづく）

### English for Biz-People ビジネス英語入門編

もう15年以上前の話ですが、前職では、講師はスーツ着用、女性はスカーフ・ヒール必須でした。ブラウスのアイロンがけは（今も）とても面倒でしたが、毎日服装を考えなくても良かったので楽だったなあ。

「派手な色のシャツは禁止です」  
**Bright-colored dress shirts are not allowed.**

allow の発音に注意しましょう。受動態で使うことで、「～は OK」という意味になります。dark-colored で「濃い色の」という意味に。尚、ワイシャツは和製英語、もとは white shirt だったとか。



### What's up @ sanaeigo

5/24(SUN)英検一次試験

土曜日クラス 一部日程変更あり ご確認ください

5/14(THU)中学文法特訓レッスン@18:00

5月グループレッスン休講はありません